

モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

モデル地域での取組について（振り返り）

■モデル地域の取組概要

令和4年度

モデル地域の選定

令和5・6年度

築年数や利用状況等に着目した「起点施設」の選定

① 起点施設のデータ分析等

② 市民参加の取組

ワークショップ（実績）
期間：R5.11月～R6.11（2箇年）
回数：4地域×5回 計20回
参加者：延べ464名（4地域合計）

- ① 起点施設のデータ分析等により、「複合化等検討施設候補」と「利用向上施設候補」に分類
② 市民参加の取組により、「今後の取組の視点」を整理

令和7年度

適正配置パターンの検討

利用向上を目指した取組の方向性整理

利用団体等へのヒアリング

（仮称）モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組方針策定

モデル地域の成果と課題について

(成果)

- 地域分析、起点施設の抽出、相手方施設の抽出、施設ごとの課題の度合いに応じた分類（複合化等検討施設候補・利用向上施設候補）など、**地域ごとの資産保有の最適化検討の進め方の作業モデルが整理できた。**
- ワークショップの開催等により、多くの方の御意見を伺い、意見交換から見えてきたことを踏まえ、**「今後の取組の視点」を5つに整理できた。**

モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組の検討状況（中間報告）

令和7(2025)年1月
川崎市

3 市民参加の取組について

3-2 今後の取組の視点について

モデル4地域での市民参加の取組を通じて「意見交換から見えてきたこと」を踏まえ、「今後の取組の視点」を以下の5つに整理しました。

意見交換から見えてきたこと	今後の取組の視点
1. 行政側の施設に向けた施設の機能として必要と思われるものは、多世代の交流や子育て支援の場・文化活動の場など、多世代が様々な用途で活動できる場と考えられる。	＜視点1＞ 様々なニーズに対応した、多目的な機能を持つ施設を目指す。
2. 地域特性を踏まえた検討を行うことも重要と考えられる。	＜視点2＞ 地域特性を踏まえて検討していく。
3. 施設によっては対象者の利用動向があることや、使われていない時間帯もあり、使い方に工夫の余地があると考えられる。	＜視点3＞ 使われていない時間帯の有効活用や、利用者範囲を柔軟に考えるなど、これまでの施設の使い方を再検討していく。
4. 施設が入りづらい、知られていないなどの意見があるため、積極的な情報発信や施設を利用してもらう工夫などが求められていると考えられる。	＜視点4＞ 情報発信やPRを積極的に行うなど、「公共施設を知ってもらう」取組により認知度の向上を図る。
5. ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、施設の状況やタイミングに応じて、機能集約や移転などの手法も含めて検討していく。	＜視点5＞ ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、施設の状況やタイミングに応じて、機能集約や移転などの手法も含めて検討していく。

5つの視点を踏まえ、地域ごとの資産保有の最適化に向けた今後の取組を進める

今後の取組の視点

＜視点1＞

様々なニーズに対応した、多目的な機能を持つ施設を目指す。

＜視点2＞

地域特性を踏まえて検討していく。

＜視点3＞

使われていない時間帯の有効活用や、利用者範囲を柔軟に考えるなど、これまでの施設の使い方を再検討していく。

＜視点4＞

情報発信やPRを積極的に行うなど、「公共施設を知ってもらう」取組により認知度の向上を図る。

＜視点5＞

ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、施設の状況やタイミングに応じて、機能集約や移転などの手法も含めて検討していく。

R7.1月公表

「モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組の検討状況（中間報告）」より

モデル地域の成果と課題について

(課題)

- モデル4 地域では、ノウハウの構築を含め、取組方針の策定までに **3 年（R5～R7）の期間を要した。**
- ワークショップにおいて、参加者に資産マネジメントについて理解してもらえた一方で、**各地域で 2 年間にわたり全 5 回を実施したことは、参加者の負担も大きかった。（参加者が減少し、2 年目に追加募集が必要となった）**

【モデル4 地域でのワークショップ概要】

① 実施時期等	令和 5（2023）年11月から令和 6（2024）年11月にかけて モデル4 地域で各 5 回、合計20回実施			
② 参加者	無作為抽出によりモデル4 地域にお住まいの満15歳以上の方、及び町内会関係者の方 第1回：99名 第2回：87名 第3回：116名 第4回：80名 第5回：82名 合計：464名 ※参加者数は4 地域合計			
③ 内容	← 令和 5 年度 → ← 令和 6 年度 → 第1回 「公共施設の未来体験 ゲーム（カワタン）」体験 会 資産マネジメント第3期実施 方針の考え方を理解していた ため、「公共施設の未来体験 ゲーム（カワタン）」を実施 第2回 地域の将来像・施設の 使い方を考える モデル地域の特徴や課題等を 踏まえ、「どんな地域が魅力的 か」、「その地域の実現にはど のように施設を使えばよいか」 について意見交換を実施 第3回～第4回 身近な地域の将来像や将来 に向けて公共施設に必要な 機能の検討 第2回で話し合ったモデル地域の 将来像等を踏まえ、その実現に向 けて起点施設にあったらいいと思う 機能等についての意見交換を実施 第5回 第3回～第4回の検討成果の 共有とワークショップ全体の振り 返り 班ごとに行っていた検討成果を全体 に共有し、トークセッションを通じて ワークショップ全体の振り返りを実施			

モデル地域での成果と課題を踏まえ、**今後の取組の進め方を検討**

今後の取組の進め方検討について

■以下のポイントを踏まえて進め方を整理する。

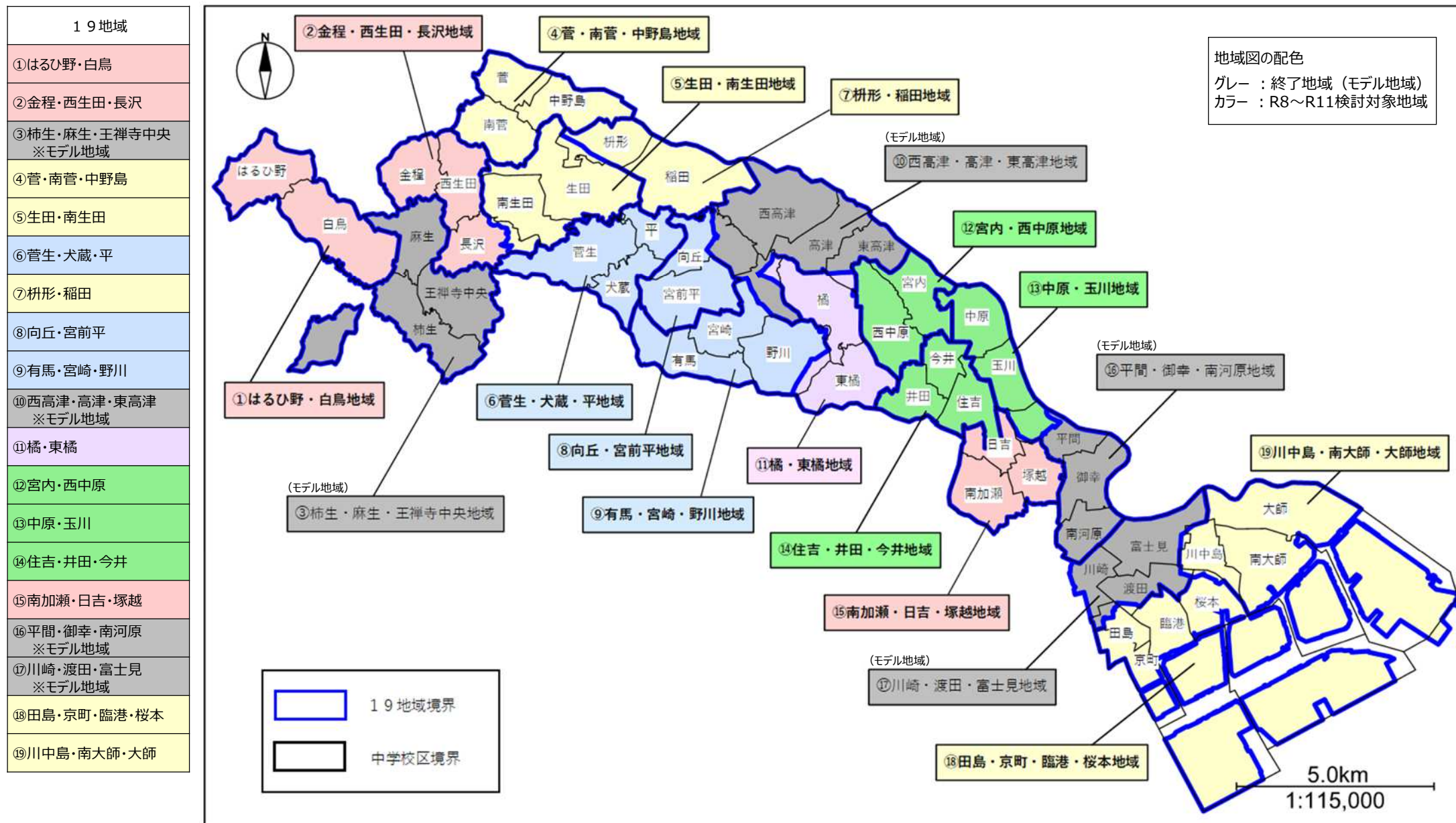
(ポイント)

- ・19地域全ての取組方針を策定した状態で「資産マネジメント第4期実施方針」の策定を行うため、**残り15地域はR8～R11で取組方針を策定する。**
- ・R8～R11の4年間で15地域の取組方針を策定するため、**地域を2グループに分け、2年ごとに検討を行う。**
- ・令和4年度に19地域の仮設定とともに、モデル地域選定に際し、R2公共施設白書を基にした**各地域の検討の優先順位（規模・老朽度・利用状況・施設のあり方等を基に分析）を公表している。**当該優先順位データの**利用状況等を直近のR5公共施設白書データを基に更新し、優先地域を再整理する。**
- ・市民参加の取組として、**15地域におけるワークショップの開催を前提とし、作業期間、地域数、開催回数、参加者負担等を踏まえ、効果的・効率的な実施方法を検討する。**

モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

検討地域の整理（区別色分け）

■ 市内19地域（仮設定）のうち、モデル4地域を除く**15地域**について検討を行う。



モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

スケジュールの整理

(考え方)

- ・19地域全ての取組方針を策定した状態で「資産マネジメント第4期実施方針」の策定（R13）を行う。
- ・このため、**残り15地域はR8～R11で取組方針を策定する必要がある。**
- ・R8～R11の4年間で取組方針を策定するため、**地域を2グループに分け、2年ごとに検討を行う。**

(スケジュールイメージ)

	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032以降
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14以降
資産マネジメント実施方針					第3期期間					第4期期間
				中間見直し				第4期実施方針検討	策定	
モデル地域 4地域	ワークショップ～取組方針検討		策定				取組推進			
モデル地域以外 15地域				取組方針検討	策定			取組推進		
						取組方針検討	策定		取組推進	

モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

優先地域の整理

- 令和4年度に検討地域の優先順位（令和2年度版白書ベース）を公表している。
- 利用状況を令和5年度白書ベースに更新し、優先順位を再整理。

■ 地域ごとの資産保有の最適化 地域の優先順位付けシミュレーション

令和2年度版白書ベース ※利用状況データ更新（令和5年度版白書ベース）

「2018～2020」を「2022～2023」の2箇年平均に更新

※令和5年度版白書ベースに更新

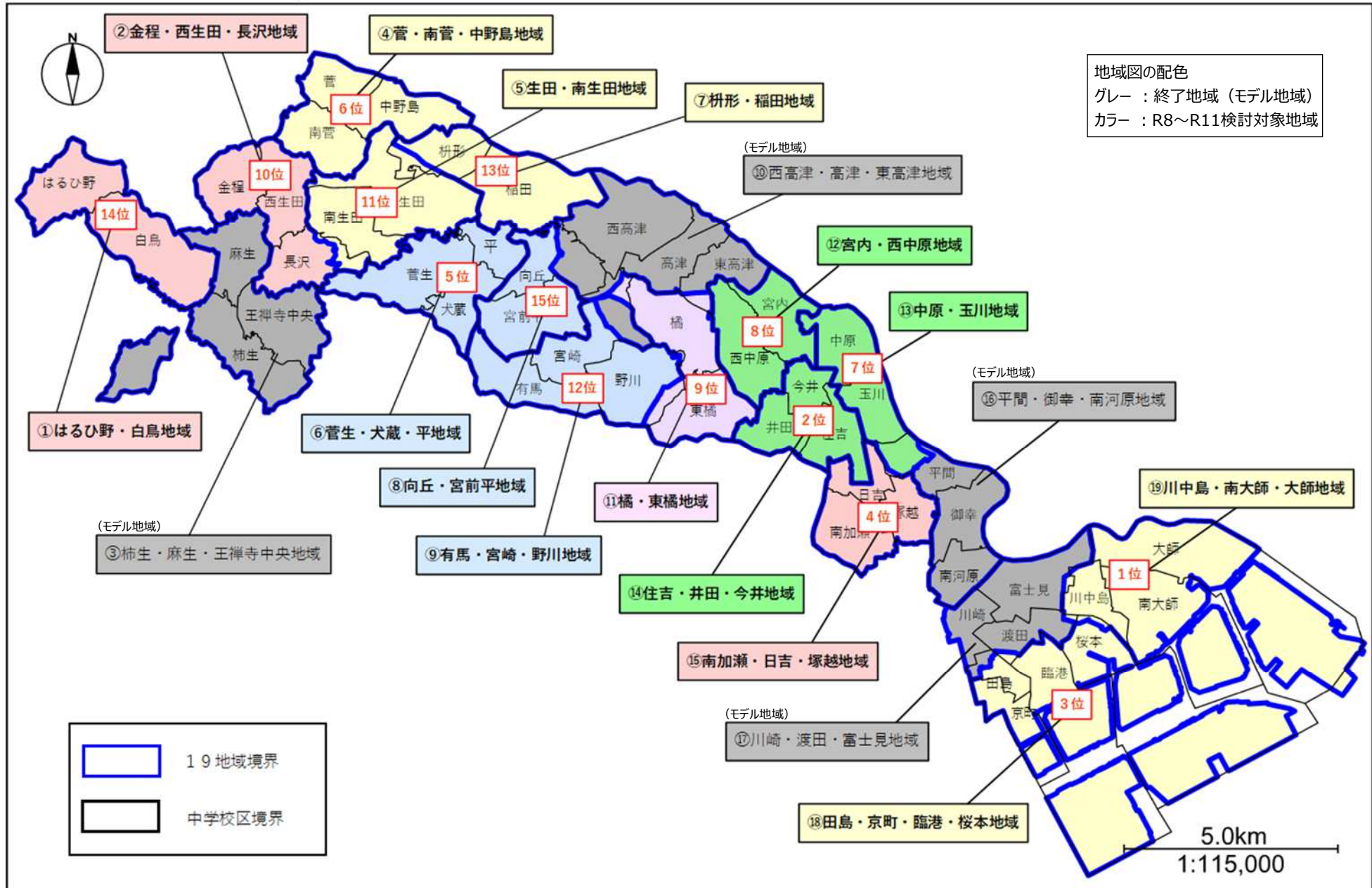
モデル地域を 除いた順位	地域	規模		老朽度		利用状況(2022～2023)		施設のあり方等		合計	順位	元順位
		点数	10点満点ベース	点数	10点満点ベース	点数	10点満点ベース	点数	10点満点ベース			
14	①はるひ野・白鳥	17	0.29	20	0.28	7	0.22	3	0.17	0.97	18	18
10	②金程・西生田・長沢	18	0.31	27	0.38	13	0.42	8	0.45	1.56	14	14
	③柿生・麻生・王禅寺中央 ※モデル地域	39	0.66	60	0.85	33	1.05	17	0.97	3.53	3	3
6	④菅・南菅・中野島	20	0.34	37	0.53	16	0.51	9	0.51	1.89	10	10
11	⑤生田・南生田	23	0.39	24	0.34	12	0.38	7	0.40	1.51	15	15
5	⑥菅生・犬蔵・平	27	0.46	34	0.48	18	0.58	12	0.68	2.20	9	9
13	⑦枅形・稲田	23	0.39	26	0.37	8	0.26	6	0.34	1.36	17	16
15	⑧向丘・宮前平	10	0.17	13	0.18	3	0.10	3	0.17	0.62	19	19
12	⑨有馬・宮崎・野川	15	0.25	26	0.37	11	0.35	7	0.40	1.37	16	17
	⑩西高津・高津・東高津 ※モデル地域	59	1.00	73	1.04	37	1.18	18	1.02	4.24	1	1
9	⑪橋・東橋	28	0.48	29	0.41	9	0.29	9	0.51	1.69	13	13
8	⑫宮内・西中原	26	0.44	33	0.47	14	0.45	8	0.45	1.81	12	12
7	⑬中原・玉川	31	0.53	29	0.41	15	0.48	8	0.45	1.87	11	11
2	⑭住吉・井田・今井	44	0.75	34	0.48	19	0.61	8	0.45	2.29	6	5
4	⑮南加瀬・日吉・塚越	42	0.71	42	0.60	10	0.32	11	0.63	2.25	8	7
	⑯平間・御幸・南河原 ※モデル地域	35	0.59	39	0.55	23	0.73	12	0.68	2.56	4	4
	⑰川崎・渡田・富士見 ※モデル地域	61	1.04	54	0.77	32	1.02	15	0.85	3.68	2	2
3	⑱田島・京町・臨港・桜本	29	0.49	52	0.74	16	0.51	9	0.51	2.25	7	6
1	⑲川中島・南大師・大師	42	0.71	52	0.74	17	0.54	6	0.34	2.34	5	8
	合計	589	10.00	704	10.00	313	10.00	176	10.00	40.00		

川崎・幸・中原区
の優先度が高い

モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

優先地域の整理

地域図（優先順位入り）



今後の取組の進め方について（案）

①今後の検討地域のグループ分け

検討地域の優先順位を整理した結果、**より優先度の高い地域を「川崎区」、「幸区」、「中原区」において確認できた**ことから、事務の効率化を考慮し、**当該3区の6地域を優先して取組を進めること**とする。

⇒R 8 ～ R 9 ： 6 地域（川崎区・幸区・中原区）※R6白書（R7.3.31時点データ）に基づき検討

⇒R 10～ R 11： 9 地域（高津区・宮前区・多摩区・麻生区）※R8白書（R9.3.31時点データ）に基づき検討

②今後の取組スケジュール

R8～R11の4年間で15地域の取組方針を策定するため、**地域を2グループに分けるとともに、モデル地域で構築した取組フローや作業モデルを踏まえ、検討の取組を効果的・効率的な2年ターンで実施することとする。**

③市民参加の取組の進め方

2年ごとの取組のうち、**1年目はワークショップ**を実施し、**2年目**は区民祭等を活用した**オープンハウス型説明会**を実施することとする。

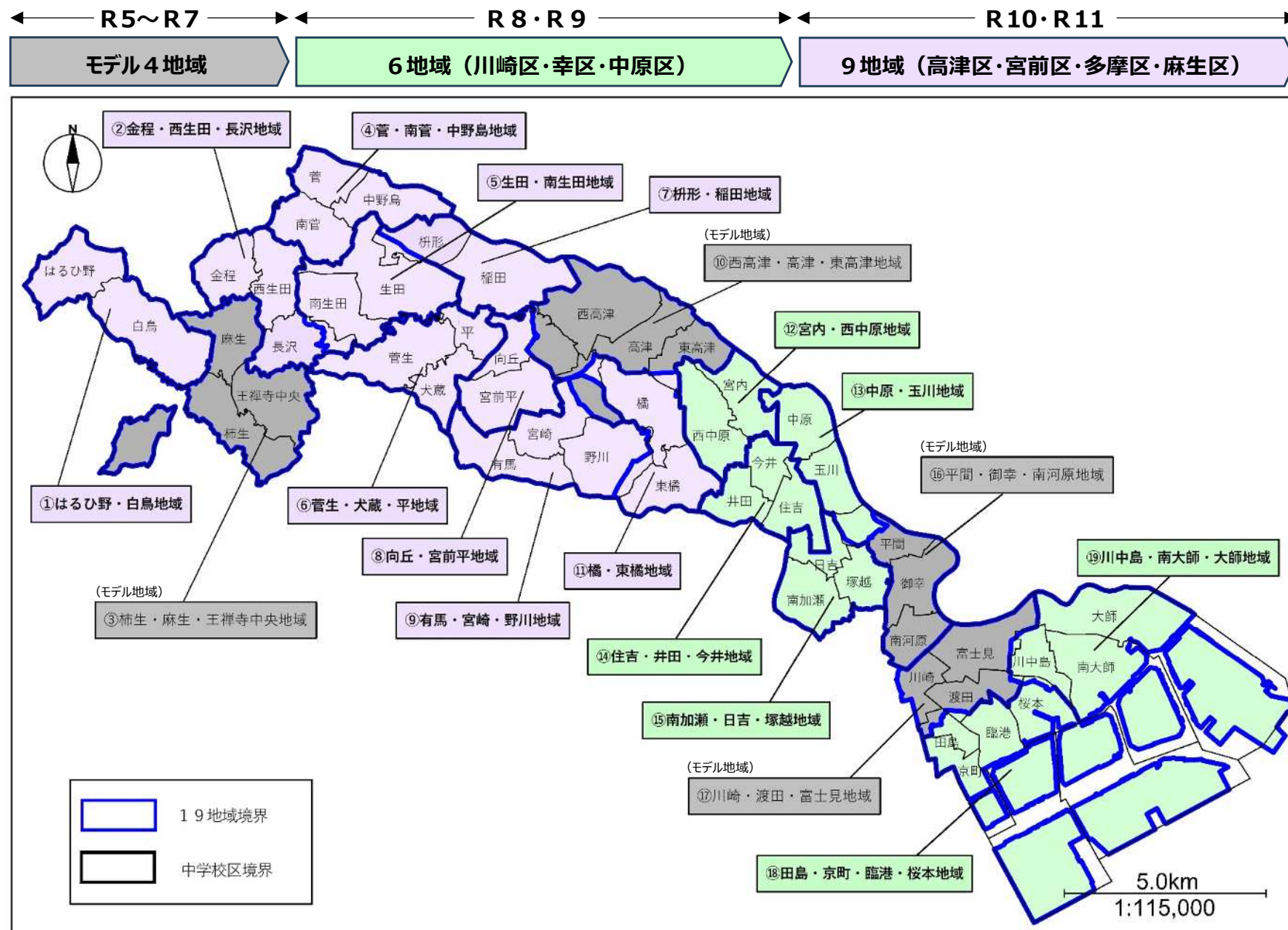
事務の効率化及び参加者負担等を考慮し、**全3回の設定**において、**同一区内の地域は同時開催で実施することとする。**

⇒ワークショップ：各区×3回を実施（R8は計9回、R10は計12回を想定）

モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

①今後の検討地域のグループ分け

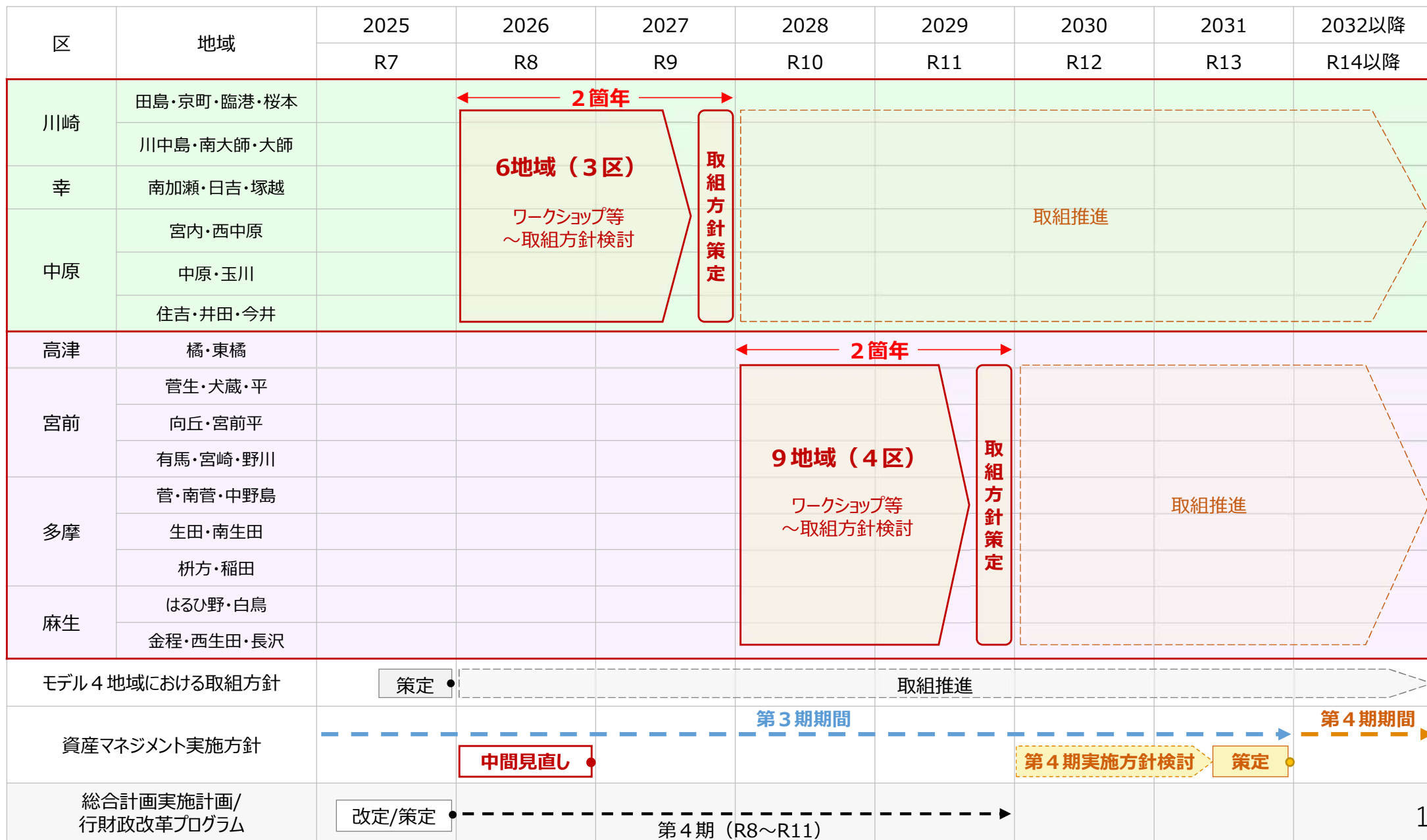
■より優先度の高い地域を含む、「川崎区」、「幸区」、「中原区」の6地域を優先して取組を進める。



モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

②今後の取組スケジュール

■ 検討の取組を効果的・効率的な2年ターンで実施する。



モデル地域以外の資産保有の最適化検討について

③市民参加の取組の進め方

■ 1年目はワークショップを実施し、2年目は区民祭等を活用したオープンハウス型説明会を実施する。

区	地域	R8				R9				R10				R11			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
川崎	田島・京町・臨港・桜本 ／川中島・南大師・大師	市民参加の取組															
幸	南加瀬・日吉・塚越	準備作業	ワークショップ 3区×3回		結果 まとめ	オープン ハウス型 説明会 3区×1回		方針 策定									
中原	宮内・西中原／中原・ 玉川／住吉・井田・今井																
高津	橋・東橋									市民参加の取組							
宮前	菅生・犬蔵・平／向丘・宮 前平／有馬・宮崎・野川									準備作業	ワークショップ 4区×3回		結果 まとめ	オープン ハウス型 説明会 4区×1回		方針 策定	
多摩	菅・南菅・中野島／生田・ 南生田／枅方・稲田																
麻生	はるひ野・白鳥／ 金程・西生田・長沢																

モデル4地域における市民参加の取組

地域の公共施設の未来を考えるワークショップについて

公共施設の使い方や機能のあり方の整理に向けて、様々な立場・年代の市民の皆さまから、地域にある公共施設の未来に向けたより良い使い方を考える御意見をいただき公共施設に対する幅広い市民ニーズ等を把握するため、「地域の公共施設の未来を考えるワークショップ」を開催しました。

ワークショップの概要

①実施時期等	令和5（2023）年11月から令和6（2024）年11月にかけてモデル4地域で各5回、合計20回実施
②参加者	無作為抽出によりモデル4地域にお住まいの15歳以上の方、及び町内会関係者の方 第1回：99名 第2回：87名 第3回：116名 第4回：80名 第5回：82名 合計：464名 ※参加者は4地域合計
③内容	令和5年度 第1回 「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」体験会 各モデル4地域3回実施 ※「カワタン」は、公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）を体験し、地域の未来について意見を交換する。 第2回 地域の将来像・施設のあり方を考える 各モデル4地域2回実施 ※「カワタン」を体験し、地域の未来について意見を交換する。 令和6年度 第3回～第4回 身近な地域の将来像や将来のあり方を考える 各モデル4地域2回実施 ※「カワタン」を体験し、地域の未来について意見を交換する。 第5回 第3回～第4回の検討成果の共有とワークショップ全体の振り返り 各モデル4地域1回実施 ※「カワタン」を体験し、地域の未来について意見を交換する。

ワークショップの様子



ワークショップの結果概要

いただいた御意見のうち、主な意見・アイデアのキーワードを整理し、「意見交換から見えてきたこと」を以下のとおりまとめました。

■主な意見・アイデアのキーワード

	川崎区モデル地域	幸区モデル地域	高津区モデル地域	麻生区モデル地域
共通の意見	「多世代交流」「子育て支援の充実」「文化・芸術活動」「利用制限の見直し」「使われていない時間帯の有効活用」 「入りづらい」「知られていない」「情報発信・PRが大事」「施設集約や移転なども有効」			
特徴的な意見	「安心安全」「防災」「国際交流」	「企業との連携」「多摩川を活用」	「防災」「農や自然」	「農や自然」「元来シニアの交流」

意見交換から見えてきたこと

1. 有来歴から見てきた公共施設の機能等について、「多世代が交流できる」、「子育て支援が充実している」、「文化・芸術活動が活発」という意見が共通していました。
2. また、地域ごとに見ていくと「国際交流」、「企業との連携」、「農や自然」など特徴的な意見もいただきました。
3. 施設の利用内容について、「利用制限の見直し」、「使われていない時間帯の有効活用」という意見が共通していただきました。
4. 施設に関する意見として、「入って良いのか分からず、入りづらい」、「施設が活用が知られていない」という意見が共通してあり、また、「施設の情報発信をもっとして欲しい」、「PRが大事」という意見も共通していただきました。
5. ニーズに合った施設の実現や利便性向上するための視点として、建設等のタイミングによっては施設集約や移転の手続きも考えられます。

意見交換から見えてきたことを視点として整理し、その視点を踏まえ、地域ごとの資産保有の最適化に向けた今後の取組を進めてまいります。
ワークショップでいただいた御意見やアイデアについては、公共施設の使い方や機能のあり方の整理に向けた取組の参考としてまいります。

オープンハウス型説明会について

○内容（3区共通）

公共施設の未来を考える取組について、モデル地域の各区の区民祭等でパネル展示やチラシ配布を行い、広く市民の皆さまに周知しました。また、「公共施設がどうなったら使いやすくなるか」についてシール投票を行い、特に小中学生やお子さま連れのご家族の皆さまから多くの投票をいただきました。

○日程・場所

- 川崎区 令和6年11月3日（日）@みんなの川崎祭
- 幸区 令和6年10月19日（土）@幸区民祭
- 麻生区 令和6年10月13日（日）@あさお区民まつり

※幸区については衆議院議員選挙実施に伴い区民祭中止のため未実施

○来場者数

川崎区 約500名・幸区 約500名・麻生区 約400名・合計 約1,400名

